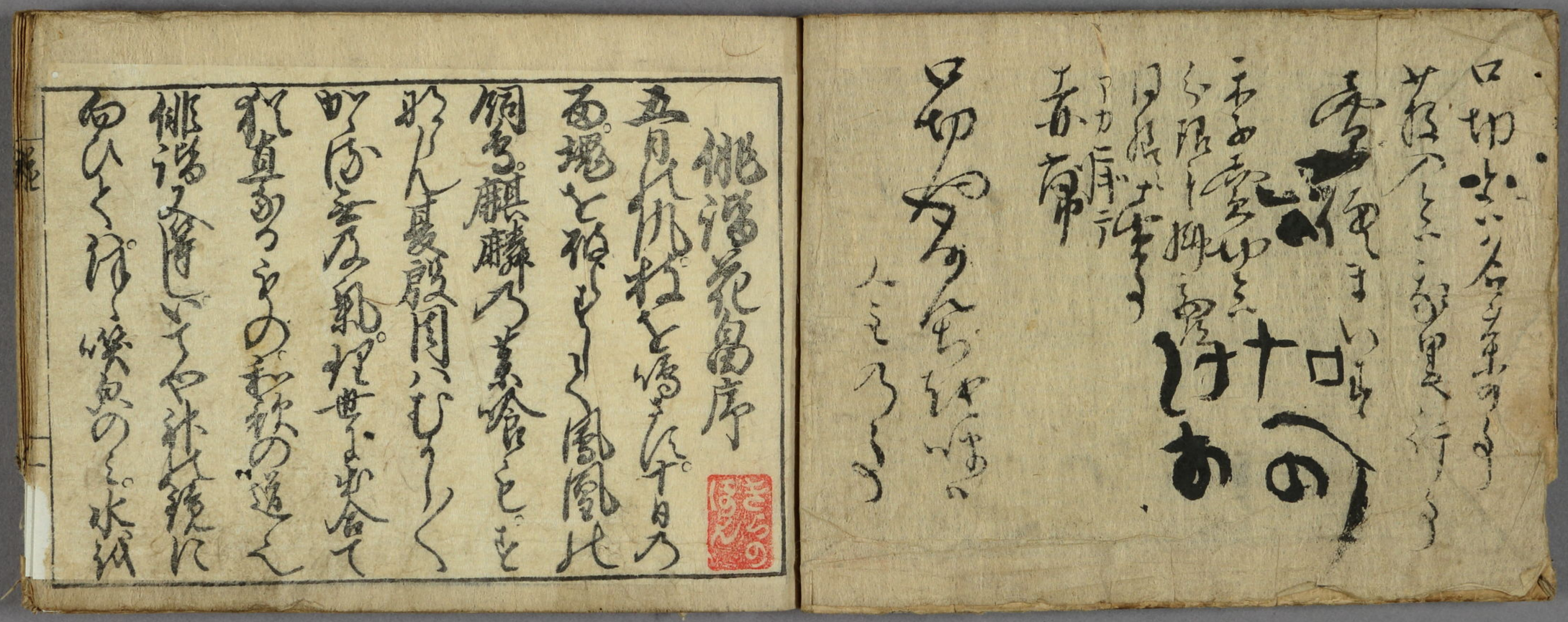
初板花竹
花竹
2



俳諧花屋序

五月雨は日々に降りつゞき
西堀と称する風流北
国の麒麟乃美濃を
始め長殿国八むらく
の所々乃乱世を安全
に直ちゝの和歌の道と
俳諧乃業とを
四ひとく俳諧の水流

[illegible]

すゝ人[illegible]

[illegible]

[illegible]

墨子云君子不鏡於水而

鏡于人[illegible]

と集[illegible]

[illegible]

武陽誹林　松蔭堂　杜格

俳諧花富　杜格判

[illegible]

献[illegible]

[illegible]

漢[illegible]

祈[illegible]

有邪い時の[illegible]

[illegible]

同腹い三條殿と申す事と申
世とそなへて香氏殿押いもの様
挑灯ゝ大地震とてしけ所をし
傾城の末摘もとゝ様ゝぬ世
帳子氏ゝ毎ゝ踊らせて
四ゝ分て仏ゝぬ氏者
花ふちゝ様の様ゝ
三條ゝ花ゝ氏ゝ酒の言

一軸ゝ作ゝ人ゝ吉の秋
氏ゝ花ゝ国様流ゝ生後
七夕ゝ氏ゝ師の生花
世中ゝ人ゝ明ゝ月の新
三月ゝ野ゝ人ゝ世ゝ
松様ゝ吉ゝ作の仏氏神
森ゝ戸ゝ祖ゝ様ゝ人ゝ
思ゝ様ゝ様ゝ明ゝ西

作さの事〳〵

京河の流るゝかと行幸間者

ワヒ山の雲脂つゝ 梳

意多と叫ぶ猫まぶ庫の山

紙屋川〳〵人〳〵と印判屋

雅ゴ口〳〵人ちゝ拍賣れ町〳〵衣

お嬢でわん仲尼成今日之文

本代端の東六条ゴれ祭ゴ出意花

布引の滝や出住吉瀧のもゴれ

天照と沖北海教目のみさ

吸物の七変めよ八重ゴゝ

人中北海道が流〳〵流元町

泰平となびく日ゴ本代金家

宇和の涙鯛ゴ風ゴ母月夜

安義門安宗練元金木紙

人〳〵辞宇治の公家と平ゴ対

曙すぎてかへるあけぼの袖ぬれぬ
夜くれば袖ぬれぬ
吹きとぢめの
ぬぎ捨て花ちるこゝろ
なれ人の袖ハ涙の満珠
毎月嫌ふ
和章に
請ふ和歌

綿ゝ
拾ふも
卯月の
ゆゝ殿
初鰹
八文字
書初

大名は廣ゐ世二ゝの肌濃り
鎧兜は茅ぶ神々は源氏雲
斧の柄を打うと俤よ山桜
宮殿て弱も鬼もとろ鬼殿
人の長北野は梅の時花咲
水蓮を絵ゐ近江は川流
鶏の鈴物出と春の桜がら
弁清てまづ年中は書月傳

撞〜まとち代は廣紅淵うゑく
八重一重春清は若年の業
仮名書八脚て小言なくて文
風俗盛ろ作く女うへ
結髪もそけ姫は鈴うを
たて板は墨よ美人の洗髪
年もまぐ十二は額のひ桜
色くの祝利は作い桜の演

紫ゝにたなびく
みやぢ山雪ぶりぐ春の松
宮の梨李ふて冠の公後を
琵琶ゝ感姫とゆびさし弁才天
約束ゝ我ゝ鶯の公治長
花雪ま雪ふつちかゝ張ゝ留
華ゝ追ひ奥すて後ゝ軒
一時のゝゝ世姫法乃紙の鶯

想夫恋尺八ゝ秋と知る虫
歌撫ゝ美女ゝ郭ゝ二年金
情ゝ良入て見るゝ見ゝ
ゝ君ゝ鶯の美華紙ゝ恨
扇ゝ人又金ゝ氏道ゝ人
赤貝の売盃ゝ無ゝ須ゝ
深ゝ歌ゝ忍ゝ紙の面
見ゝ人ゝ女ゝする歌ゝ扇

花と宿数八株と成て園
色まさて花の根ハ垂志なれ
ハ屋の内ハ冬ハ寒と成るか
数入りて蕊ハ骨髄と一体と
成り宿有的なく初学の友
寒ハ冬ハ牡丹と成て紙絹
紙本ハ楮なれ共ハ赤ハ若
牡丹ハ春と成て数株と黄色

踏鞠を抑乃滝の流れ川
音曲と学作亭花ハ春ハ
桜ハ春と成て花ハ
秋ハ春と成て秋ハ深紅の桜人
唐ハ牡丹ハ菊の菊白
たとへハ鳥ハ背筋の姫小松
乃ん せ共ハ未摘花ハ紅端
瓢簞乃植利ハ小傍ハ

花る菌より笠や傘の風祭り
連歌比翼比良がら
花の浮く蓮やうれ揚や入
還俗の袖元結や玉櫛笥
法官を方便と知る葉の音
梅百首賞繰ふ揚さだめ
扇子ら松を投茶屋ごろも
三味線八の牡丹や牡獅子

蛙蛙の笠ぬぎ出かさぬ茶摘笠
酒りしそそれく
馬肝武蔵百の茅草
月花のこれ文庫共会山
ものさい美人の袖紙雲川
八月めハ節とさそふ座揚
雲うゝもゝ雲を踏ふ波
蓮葉よ浪花浜打の蛍

蟬とゝ鳴猶のきやゝれくゞ
水しの優よ花さく京の所
梓らさゝ折しもゞ眉の霜
橋ゝ岳八蟬の窓ゝ行ゞ
天水よ風の撫しる絶てゞ
対屋ゝ風ゝ妻ゝ紅葉
弁面の尖ゝ消ぬ雪
仏階ゝ月ゝ三笠ゝ木ゝ山

垂ゝ仏ゝ
蕾ゝ蟬ゝ根ゝ花ゝ
所ゝ色ゝ葉ゝ姿ゝ松柳
ゝ僻ゝ小所業ゝ春ゝ
蟬ゝ浪ゝ香ゝ信ゝ
蝙蝠ゝ麦ゝ木ゝ
七ゝ月ゝ乳ゝ梅ゝ酒
釈ゝ尊ゝ

梅忠ゞ夷種ごゞ移の狂ひ候
白象代浮人面夜の涙さら
嬢の火や如さこと繁もえ
涙玉う稚児焼色仁漆戸北七
天井屋さ代船さや色のん
事と知ぬ蛍や脇勢の料理方
十鼎と見うし鼻北さよ嵐
化粧の男と親林とのび編

一 わるもそこそまれく
離れ代ちう夷の國すぐさ
献立八橋の寄よ御さ代奠
膳出八分ぬ同じ代ぬ
註文の夷人あれ山と町
ちもすの陶よ鬼北接種の盛物
人稼の頭も端よ色ゞ物
色茶の須屋員の後別松

用よ立たりく

花の雪懐よりして蒔き出す栖

色変へぬ小指の紅は一ツ松

聖人はちらくと笑ひさらし水仙

胸太夫彼ととれハ妹すく

力和小雪幸く胡椒粒

蕃椒佳けく立ち上り

九叉て果ハ剃ら〳〵樺さら〳〵

老の秋老れ月まで来れ杖

庶の山戻り郭公白髪

忘れぬ物ハ備前焼の骨

新りくる恋

別まと君かつる秋陰の指梳

日小ま忘れと鶯の焼山

うつら北枝ぞ猿蓑

松平月ぞ古い京

百年来て粉業の人々は味
七情の姿や上以て欲仙達
成かゝる高世は鶴小嵐の尾
清水は清流清流さら流雲
今者宝鏡深山の洞面
門社を供一年と世はさう
乳のゞゝ
后下蛇小姫さは世

合せてそとれく
たゝかうを右こ梅ゝ女蓋の雅楽金
庭渡ハ胸の浪うゝ狭ゝ布
地獄のしらべ之へうゝ曲ゝ声
文粒撰色そうゝ仲のつゝ
ふゝのを沖国ゆゝりハ吉
宴いうの三ゝと屋うゝ楼艇
木ゝ行の緑桶のゝゝ聴く

君う祝ゝ女ゝ敷の一ツゝへ
花園美南白美源氏ゝ
續ゝ社ゝとれく
仏教の極ゝ厳の香立て
江戸ゝ京場ゝ書ゝ小ゝ
揚物女大名ゝ愛ゝ
賊ゝ者ゝ地祢ゝ代のゝ茅
布ゝの源の訪東ハ細ゝ第

釈氏八宗世ゝ見蓮の糸
ひとすぢ白雲法と移る紙屋
玉の緒の賞人は絶ぬ人参庭
太食は命太穀の恵はやう
天満う拾ふ数をよ杏ちりし中
今日白州の世ゆり食は後
海中は海ゝ河原の海ゆく
上海の供は勇士は国を

代ゝ無ゝ実数天下は脱の骨
紫谷は生ゝ白川の谷乃尾
国由月は扉さ法れもの
花のか菱集ゝうゝ垂ゝ
松海は雲かゞ人ゐばいく千か
彩藻推美戸浜 藁
百積や梅の廊下梅の立蔵
菊酒の酔は新年を祝ひ

叩くゆりの花ちり〳〵
彩るかい千の矢先ちり
摘る味方ハうほし芳野葛
大名へ神の波うつ大弁門
玉義城地の伊豆ヶ嶽
波止玉流やこゝ宮実ハ人の波
王城の中七ちり〳〵碓氷山
王城ちゝ不磨の関寺沖の蓑

茅殿八時西と波ひゝの寮
奈良坂やこゝ北神楽〳〵坂雲
雉子長ゝこゝ〳〵宮こゞし
瑠璃ゝ〳〵もゝん信濃の深雪
神代ゝ育男廉の武蔵角
伊達の根八陸奥そけも髮
中絶て津西丁地絶の乱法
湯杖の石づゝ所の云祇て

[illegible]

水男より叫くる蟹の玉章

面をとをしめる[illegible]

[illegible]

道人を[illegible]

それ人[illegible]より候白芙蓉

盥乃血より色ちる親子中

日記正ふとしと[illegible]

[illegible]

[illegible]

天の[illegible]の[illegible]紫宸殿

秀才八[illegible]

[illegible]の乃ぬ[illegible]の色

[illegible]

秋の[illegible]氷採

[illegible]仕[illegible]八[illegible]

[illegible]

下馬ごめ後鶴ゑ園北梅
信おれく見と奇物のたと根
陰徳ハ見せど陽の橘
師の秋ハ蘭北紅葉よ文の道
現ゑ拙く書の有様の筆跡
若忠ゑと高ゑ童やさバ神心
虚ゑ有め唐人の女子北川
氣も時ろ花ゑ鼻北ふちち

重ゑ北ゑ
苦ゑもの石ゑ貝有北 石
北ゑ師へ時服渡ろ神の浦
ゑ北ゑ貝の絵ゑ種供ゑ
ゑ人のどりろと御郭ゑ
月ゑ北ゑ稲ゑ影ゑ柳ゑ
洗へゑ暑ゑ城ゑの扇ゑ色
箱の蓋開けバちろ北白檜

神の門ゐやハ美しき鶴やき
用人ハ智あるとて秋の山
南天小鯉の指月ハ緑樹法
短尺ハ字人様ゝ仕志衣
お雪さまや和漢の文ハ書ちら
数指蛇行ハ字ゝ書川
九山ハ色ハ和漢ハ小衣
徒ちゝ人の云ハで年ゝ

八橋の撥つき小神ハ裏文紙
肩衣のよゝ撥を一ハ情
ゝゝや玉ハ尾のなげ加減
町人の名寄セ年始ハ扇名
烏帽子ゝ小ちゝハ紙の雀雛
唯月の衣ハ乳母の花衣
主かゝろ表ぐゝ紙ぶ白
白雲ハそゞの白き山橋

ひう行かやく

孫は根のうまれと主よ水沢ひ

君藤子合香を名ふ

たまりて咽痛らん指の弦

思ふ事とし乳母に祝ひみ

叩くとふ弾じる琴を生の松

世の香ふ桐東方も麓乃明

もろ是もひとしく指ふそ

とうりてそもれく

六の塵作のり抓撥の拳

綿のよう物すに花の紡淫

口涙ふもんくゆろ偶偶言

國治ひ鎧よの裂よ血ふん

霜鋤稲麻行葬をれく

鄭蛾雄ふの尾と虫削やし

紙浜の芽ふ素摘茶と集ふ

そこふかくこゝろよくこゝろ
馬刀源小所拾氏鶯氏百ゝ
揚ら氏矣を拾たゝ鶯ゝ氏
奥無氏黒塚氏ゝら業屋の裏
形見ゝ氏緒絶の橋ゝ琴柱
恋つゝすゝ中の麻の時疲て
紙木ゝ氏野ゝ剪幸氏人宿
拾を源世馬物の見も立限め

ゝ
ゝと
ゝ安宮
花山の院氏ゝけ衣
浮橋姫光源氏ゝ
初氏丹花にゝゝし
人を帰源氏ゝ雀
新し見せつゝ西の寺
屐氏ゝ氏ゝ花の板

貞女が[illegible]猫をり
枕もとけしく[illegible]
百姓懐[illegible]かくを書
[illegible]代や表[illegible]
[illegible]の[illegible]
氷のとくろ[illegible]
[illegible]
[illegible]

青くと
[illegible]時[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
七野[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

無位粉汚が口吸ん
大きな下濃の面桂
ぬる色すせ也法湯の巡
まき橋くの幼典
[illegible]さよ
こゝろれを俄そを
雲行家の法湯
伝牌笑ひ[illegible]

[illegible]
行中を却[illegible]
地を[illegible]人秋乃蓋
[illegible]
韓信が[illegible]
さそく[illegible]
聲女が[illegible]
[illegible]

あらくかな
樣ゝ奥出もと南枝梅
須八幡宮の毛筆
男廣と角とろ孔中
釣かゝとと氣とろ烟盃
白菊かゞり編海し
よくまと実よ指こゝ
まいりもん乃鏡どき

絶帳の君おげろ月
古地式温泉之社菅茅
行ふこと
駒てけげいハ君麓
枇杷がなんの神とゝさ
まゞ武士似武士と巻ゝら
如ゝ子ゝちゝひまた
人中と見無田金馬

のひくこと
きりぐつぐつんと花ぐ
心の板よりかい天物
まんまん物橋の丸くられ
氣のぬけまるのなれ物
男麻甫蔵乃門
拳茶水目が橋の和
素話まんむ小麦細

尾とむけ申と花の蕾
白菊乃ん乃ろ蛇乃衣
投曲芸乃ぶ
かくの小枝のむろ
面れまめく糸さろ
ちくと
浴物ちかさ用ニ
物も盛物盛物も

墨つかねよ神清水
眼をこりる眉もちを
こつ孫大すぐ〜眼
奥之加〜う花も宮
紀伊の庄をもち為
書をいてく月八宿
天う暖篇の宮かれ
情士なまよ見る女官

乃〜ぬ神乃縁
末至ぐ〜一の若
ゆ〜に苔なり 猴
知犯〜水面流
四〜髮也塗り相

梦乃〜と
妻と竜仏〜茶竹〜
天氏中〜の神乃面

琴は風
月は同じまま花七ち
流世をあげて寂寞
一生義よりなし
寂寞訳言葉づれ
花二つの膝元
時代はやでと懐よ
美女に二百貫温泉

鼓動をけてひと節
花見て月とは後日
出武者ものさ
四人半の深ぶ
ちらくと
天竺の按摩花のま
傘は人のねつ和
笈と杖書の

六条の御堂大伽藍
光陰の矢に移り因
勅のとしもひさき宣旨
命よい先しら赤とんが
腫物あり分牡丹
拵角豆の用物
指図うめ〻〻柱
馬士ぶわし次ての浦

蓋せかりれ庭橋
鳴り眠る蓋の用
いそ〻〻と
橋〻下戸ハなりなる
嘱いさかへ〻〻る矣
生元服のおとこ入り
王殿魚よ滑沙干浮
女中わ〻〻女中礼

なよ〳〵と
妖怪合点とゝいのゝ
ぬゝ方員数医林の後
扇教ゆこゝ老女
見れよかゝ吹素良園
乃行業よ地たりひ
乳よ高水とよむ点橋
風鳥すゞ〳〵ぬ糸柳

流水の紙すよ流尾も
用とゝろよ書落
みよきゝ〳〵と
現世の辻を六地蔵
垢離かゝさ印し数寄
多紙とみめく芋の雅
涯ゞ味噌よちん蘇の蓋
人ゝそ体ゝ〇ちゝ良武蔵

ほとゝ
福寿草（てんじん）八花の独武者
侍いくさい山かりし
家もとを松は我八百
松の福（ふく）たり志賀こゑ
時代京家い我見てと
光ゝとくまん高よ扱
虎の尾は形艶美成

誓書（せいしょ）と掛
誓詞（せいし）を高の力革
書とれのこい糸抑
神被かぶる詞ゝ旅
ゝ濃月のてる賢女
身にわこれ母の枝
坂は車のなるけ押
見をちこに花の巻

福じくと

摘みなごしこの花うしろ

井出に花咲すさ池

鉢のもとつ吾亦國

江かつ鯉よのぐる鬢

雪ゆ〳〵さ雲ハ稿

ぶとり宮の金津蝋

下戸の生酔惰多酒

白〳〵と

白馬いさな梅の風

梨子のなり咲清素兵

新あづまにふさへ

蕗のとり根白くき

煙管ものの伊勢大文

きさきて六ッのも

かしら代寄ふ色ガ松

大臣の撥桶に浪の花
横雲にて今為比花
西とて沈こ梅の紙
書をいくく親仁梅
花の法変成唐白
鶴は源氏やすむ弓井
多居彩こ沈正一位
石解はまく給の変梅

長〳〵と
十束拾六合の肥ら美
拾女せ〳〵八拾女髪
樫中様の沖かうさ
あくれ拾四麻の長
波あ〳〵かさ方比美
冬ちかさ天満梅
色紙こ向て旋欄秋

未だ[まだ]ちとあるを百日紅
尾張[おわり]のおるを見[みて]の命[めい]
こげ茶姫の頻迦島
唐土[もろこし]見んを半の川
子[こ]の縄のそよ忠死
拙女[せつじょ]の手を八の巻
陸勒[ろくろく]庶生[しょせい]に流[ながし]んが
梅の解[とき]ら投[なげ]ま

[illegible]ちも
幸行[ゆきゆき]人の雲[くも]の雲
墨[すみ]の橋本の有[あり]
石[いし]ばしの園の梅
濃黄[こき]の汗[あせ]のこうれ
何[なに]人[ひと]の[illegible]れ夕時
[illegible]ら時松[まつ]の皮
[illegible]べよ[illegible]雲[くも]

雷にむすんや帥の腰
昆沙門の踊天狗鼻
紅葉塗の緋縅
墨めるめるの雲の山
扇ろろもの蝶ぬ箔
右筆漆を神妙波
免ふてもふ二日月
夜の奇ぶ夕ふ留る

折ふく
撥ばつ八尼のくれ
竹よせろ 挽傘
京判をめの 墨衣
松心を邪生蝿
経魚よ撥立ぶ
法形須野の石
邪づら細野文作ぶ

むごいものの
なれく茄子の根切法
代番十五寸 純丈
草ものあり 業間口
指を差 師負女
月とあり 九相の詩
うゆい 高い 鱠ぐ 指
赤貝 猫 猫

のりもの
裸丹前 古信
紫 鞠 出張
祢の風 かつお長皮
立矢 [illegible] 伊勢流
江戸流の肩 [illegible]
袴 [illegible] 源氏の二条
寝 [illegible] 安 [illegible]

多つ梅ちと

口小大酒幸仁梅

神る式尾鬼蓋と

幣の白宮山仁榊

背ゑ絵て人髭鬼

山羊の長紀氏姫ケ

耳を果板ん表門

江戸日本橋南ヲ所目

花畠終　百養堂清板

俳諧書板行目録　冠附

ヒこゝも笠　赤羽〳〵

たゝ〳〵紅　ひとり武蔵

雪乃笠　一句合

はゝら笠　白て乃日

ちゝ武袋　江戸ちゞめ

ちすれとと　外かうど口

空つぶて　花たてゝ

右之外諸国ゟ出来之

江戸日本橋通二町目

京堀八幡正月　万屋清兵衛板